

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	作品研究	
科目基礎情報							
開設学科	プロダクトデザイン科		コース名			開設期	後期
対象年次	2年次		科目区分	必修		時間数	30時間
単位数	2単位		授業形態	実習			
教科書/教材	課題毎に資料を配布する。参考書は、授業中に指示する。						
担当教員情報							
担当教員	大山敏弘			実務経験の有無・職種		有・プロダクトデザイナー	
学習目的							
プロダクトデザインおよび各方面で活躍するデザイナーの作品や創作姿勢を研究する。プロフェッショナルの仕事の仕方や考え方からデザインの重要性、視点の切り替え方を学んでいく。							
到達目標							
学生一人一人が注目すべきデザイナー・作品をセレクトし、コンセプト・制作意図・試作背景を深堀していき発表する。学生個々人が今後の指標となるデザイナー・デザイン作品を確定していく。							
教育方法等							
授業概要		学生一人一人が注目すべきデザイナー・作品をセレクトし、コンセプト・制作意図・試作背景を深堀していき発表する。					
注意点		学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。授業に出席するだけでなく、クリエイターとして興味を持って授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。作品を多面的に見ることで、ワンパターンの思考から、柔軟な見方・考え方ができるように心がけること。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は課題提出とプレゼンテーションの実施ならびに評価を受けることができない。					
評価方法	種別	割合	備 考				
	課題内容	50%	研究内容、調査のまとめ方等を総合的に評価する				
	プレゼンテーション	30%	課題の発表技術、内容について評価する				
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
日付	授業内容		各回の到達目標				
1回	ガイダンス		ガイダンスにて今後の大まかなスケジュールを理解する。調査対象や調べ方のコツを学ぶ。				
2回	サンプル例の提示1		サンプルとしてのデザイナーおよび作品の解説。学生が興味を持つ方向性を提示する				
3回	サンプル例の提示2		サンプルとしてのデザイナーおよび作品の解説。学生が興味を持つ方向性を提示する				
4回	学生による研究発表1		研究成果プレゼンテーション実施。他の学生はメモを取り作品内容及びデザイナーに対する理解深める				
5回	学生による研究発表2		研究成果プレゼンテーション実施。他の学生はメモを取り作品内容及びデザイナーに対する理解深める				
6回	学生による研究発表3		研究成果プレゼンテーション実施。他の学生はメモを取り作品内容及びデザイナーに対する理解深める				
7回	学生による研究発表4		研究成果プレゼンテーション実施。他の学生はメモを取り作品内容及びデザイナーに対する理解深める				
8回	学生による研究発表5		研究成果プレゼンテーション実施。他の学生はメモを取り作品内容及びデザイナーに対する理解深める				
9回	研究成果前半チームの振り返り		前半プレゼンテーションした作品・デザイナーの中から気になったモノを選びレポートする				
10回	学生による研究発表6		研究成果プレゼンテーション実施。他の学生はメモを取り作品内容及びデザイナーに対する理解深める				
11回	学生による研究発表7		研究成果プレゼンテーション実施。他の学生はメモを取り作品内容及びデザイナーに対する理解深める				
12回	学生による研究発表8		研究成果プレゼンテーション実施。他の学生はメモを取り作品内容及びデザイナーに対する理解深める				
13回	学生による研究発表9		研究成果プレゼンテーション実施。他の学生はメモを取り作品内容及びデザイナーに対する理解深める				
14回	学生による研究発表10		研究成果プレゼンテーション実施。他の学生はメモを取り作品内容及びデザイナーに対する理解深める				
15回	まとめ・振り返り		後半プレゼンテーションした作品・デザイナーの中から気になったモノを選びレポートする				